

多摩永山中学校だより

編集・発行 校長 佐藤 信雄

<http://schit.net/tama/ihtamanagavama/>

Be a good loser 良き敗者たれ

校長 佐藤 信雄

運動会が終わって一週間ほどがたとうとしています。生徒の皆さんは、まだ運動会の余韻に浸っているのでしょうか？ それとも迫ってきた第1回定期テストに向けて気合を入れているところでしょうか？ 今回は、運動会にまつわることをお話したいと思います。

「良き敗者たれ (Be a good loser.)」という言葉があります。「良い敗者って何だろう?」「良いのは勝者ではないの?」と疑問をもつ生徒の皆さんもおいでかもしれません。実は、この言葉の前には「果敢な闘士たれ (Be a hard fighter)」という言葉があるのです。「全力を尽くして、心を燃やして、戦いなさい」という意味です。(煉獄さんみたいですね。)そしてその後に来るのが「(そして) 良き敗者たれ」なのです。全力をふるって挑みなさい。そしてその後は、結果を素直に受け入れ、勝った相手を、勝者を称え、自身は下を向かず、いたずらに自虐的になることなく、胸をはって負けを受け入れなさい。それを良い敗者と言います。」という意味です。

私たちが何かの競技をするとき、誰かと競い合うとき、たいていは勝敗という結果がもたらされます。勝つことは簡単ではありません。体力、技術、知力が、そして競技によっては協調性(チームワーク)も試されますし、時の運というものも作用します。私たち人間はその人生で勝者になることをいつもいつも願いますが、おそらくは、より多く体験するのは敗北の方でしょう。

そして、全力を尽くして負けたら、その時は結果を受け入れて、勝者を称え、負けを糧として明日に向かおう、それが負けた者としての理想の、あるべき姿だと説明しているのが、この「良き敗者たれ」という言葉なのです。

運動会ではいろいろな種目が開催されましたが、勝てなかった悔しさをいつまでも胸に秘めている人はいませんか？ 負けることは悔しいですね。全力を尽くして負けたら、なおのこと悔しいですね。でも、そこで歯を食いしばって耐え、勝者に対して「おめでとう」と称えられたら、どんなに素敵なことでしょうか。

私はこの言葉を、ラグビーで知りました。ラグビーはタックルなどがあり、意図的に相手と身体接触をすることを許されている、とても激しいスポーツです。正直なところ、痛い思いもしますし、怖いものです。昔、当時は世界最強と言われたニュージーランドのラグビーチームであるオールブラックスと試合をすることになった日本代表の選手は、試合の前夜に本気で、遺書を書こうかと思ったそうです。日本代表のつわものたちが死を覚悟するほど、オールブラックスとの試合には危険と恐怖が感じられたということです。

こんな激しいラグビーですが、実は試合中に乱闘などの暴力沙汰になることはありません。また試合後に、勝者と敗者が不穏な空気になったりすることもあります。偶然グラウンドに倒れている選手を踏んづけてしまうこともあるし、うっかりタックルが高く入って強烈な痛みを与えてしまうこともあります。それでも、文句を言い合ったり、暴力になることはないのがラグビーです。なぜでしょうか？

それは、ラグビーにかかわる人たちが、等しくラグビーに誇りをもち、等しく「良き敗者たれ」という精神を抱いているからなのです。その精神が、危険なスポーツであるのにフェアでクリーンなプレイを生み出し、ラグビーを「紳士のスポーツ」としているのです。審判の権威が最も強いのもラグビーです。

ラグビーにはもう一つ、よい言葉があります。それは試合終了の言葉です。他の競技では、よく「ゲームセット」とか「タイムアップ」と言いますね。ラグビーでは「ノーサイド」と言います。「試合が終わったら、敵の側も、味方の側も無い。敵・味方は無くなる。ただ同じ競技の選手として一つになる」という意味なのです。

運動会で勝てなかったと残念に思っている人は、どうか、よき敗者になってください。そしてクラスも、学年の違いもなく、運動会が終わった今は「ノーサイド」として、みんなで学校生活を送っていきましょう。次に競い合う時が来たら、また全力を尽くしましょう。そして終わったら、笑顔で健闘をたたえ合いましょう、今回の運動会のように。最後のリレーのスタート直前で、クラスを越えて円陣を組んだ3年生のように、フェアでさわやかに。

今回の運動会で、素敵に、ひたむきに頑張る皆さんの姿を見られて、私は大いに感激しました。弱気の虫をやっつけて、頑張らなければと思いました。生徒の皆さんそしてすべての皆様、どうもありがとうございました！

速報

令和6年 防ごう熱中症！『熱中症対策標語コンテスト』中学生の部 教育長賞
「ジリジリと喉カラカラで身の危険」 小宮 岳(2年) おめでとうございます！

1年生、ハケ岳へ！～移動教室は楽しかったな～



5月15日(水)からの2泊3日、1年生は移動教室のため長野県の高山市少年自然の家に出かけました。高山市の中学校9校のうち8校は冬にスキーの移動教室を実施しており、5月に農業体験等で移動教室を行うのは本校だけです。野外炊飯、運動会の大縄跳びの練習、レクリエーション、ラディッシュの収穫、田植え、ナイトハイクと星の鑑賞、陶芸体験、ほうとう作りといろいろな体験を楽しみました。体験から見てきたのは、新たな自分と、新たな仲間の姿。私たち人間は、体験を通してこそ自分を理解し、他者を理解し、絆を結ぶことができます。わずか2泊3日の移動教室でしたが、出かける前と、帰ってきた後とでは、一年生のみんなの様子が少し大人びて見えるようです。皆さんの元気な姿に、引率の先生方はじめ、カメラマンの本郷さんも、看護師の難波さんも、目を細めて微笑んでくれました。これからもいろいろな体験と学びを通して、成長して行ってほしいです。

ご準備からお見送り、お迎えと、保護者の皆様には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



さあ火起こし 難しいな!



いつでも炒められるよ!



班で揃って「いただきます」



「行くよー」「そーれー」



ムカデ競走の練習!



美味しそうな夕食です!



手を合わせて、いただきます!



夜のレクリ ゲーム大会



朝もやから始まる二日目です



ラディッシュの収穫は楽しい



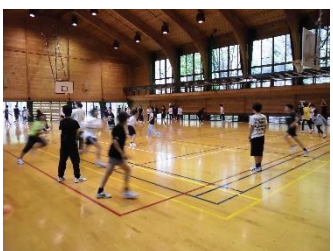
一列になって田植えです!



足を洗って、さあお昼だ



何という空の青さ、高さ!



午後のレクも元気いっぱいです



2日目の夕食も美味しそう



美味しい! 美味しい!



ナイトハイクにいざ出発



陶芸体験に全集中!



ほうとう作り 麺棒でスルスル



ほうとうもサラダも美味しいネ

第28回運動会 盛大に開催されました！

5月25日(土)、第28回運動会がにぎにぎしく開催されました。当日は曇り空で風が少し吹くという、熱中症の危険性が少ない絶好のお日でした。しかし競技や応援に臨む生徒の熱気はたいへん強いもので、ご覧になられた保護者の皆様も大いに感動してくださったようです。

生徒のより具体的な活躍の姿や感想は、1年生の『道』、2年生の『もっと、いくぞお』、3年生の『いくぞお』といった学年だよりに紹介されています。学年ごとに意趣豊かなおたよりですので、ぜひお読みくださいませ。

保護者の皆様にはこの間、体操着の洗濯やお弁当作り、そして参観と応援まで、いろいろとありがとうございました。またPTAの代表の皆様には、受付対応や会場の片づけまでお手伝いを賜り、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。閉会式での生徒の言葉のように、多くの皆様のお力添えがあって初めて運動会を成功裏に終えることができました。紙面をお借りして、すべての皆様に感謝申し上げます。

第28回運動会の結果 学年別優勝 **1年1組(黄)** **2年2組(赤)** **3年1組(黄)**



美術部謹製の見事な横断幕です



さわやかに開会の言葉



放送席も一生懸命です！



男子持久走 ヨーイ、スタート！



スターターの全集中の姿です



仲間と一つになったひたむきさ！



用具係も大活躍



「後は頼む」「わかった！」



ドンマイ！ 切り替えていこう



ダンス 先生もハッスル！



勇壮無比！ 3年大ムカデの激走



最後のレース！ 自然と輪が

熱中症予防講座を思い出しましょう！



生徒の皆さんは、4月22日（月）の朝1時間目に、体育館にて今年度の熱中症予防講座が開かれたことを覚えていらっしゃいますか？ また講師の大塚製薬の千葉雅裕先生のお話の内容を思い出せますか？ いよいよ6月になり、熱中症のリスクが高まる季節になりました。今こそ、講座の内容を復習して、安全にこの夏を乗り切りましょう。

- ① 熱中症は、暑さ（高い気温）に加えて、高い湿度と、体の疲労度、栄養状態が影響している。
- ② 水分はこまめに取るとよい。1回はだいたいコップ1杯分、100～200ml程度でよい。
- ③ 激しい運動等をして大量の汗をかいた場合などは、塩分を含むイオン飲料（スポーツドリンク）がよい。
- ④ 熱中症を防ぐには4つの面から対策をとるとよい。
 - ア バランスの取れた栄養。
 - イ 十分な睡眠。
 - ウ 適度な休養。
 - エ こまめな水分補給。
- ⑤ 少しでも「体調が悪いな」と感じたら、先生方をはじめ、周りの人に伝えること。早い対応が大事であること。

梅雨に入れば湿度も増します。梅雨が明ければ暑さが本格化します。本校から一人も熱中症にならないで済むよう、これからの季節、全員で気をつけていきましょう。合言葉は「休養、栄養、水分補給！ 喉が渇く前に一口！」



躍進する、たまなが中生！

敬称略



〇剣道部

第53回東京都剣道道場少年剣道大会 4月28日
中学生男子の部 準優勝 明田 悠弥（3年） 東京都代表として全国大会に出場します！
東京都剣道連盟会長杯争奪中学校剣道大会予選会（第7ブロック） 5月19日
男子団体の部 準優勝 東京都大会に進出が決まりました！ おめでとう！

〇ソフトテニス部

多摩市春季ソフトテニス大会 5月5日 毎日の練習が素晴らしい成果をあげました！
中学生女子の部 3位 中野 礼菜（1年）・石垣 美空（1年）
3位 齊藤 遥（3年）・齊藤 空（3年）
中学生男子の部 準優勝 林 怜央（3年）・吉田 豪希（3年）
3位 鈴木 碧大（3年）・鏑木 海斗（3年）



そうだ、図書館へ行こう！

最初はすぐ終わるだろう、小さな戦いで済むだろうと誰もが思っていたその戦争は、多くの国々を巻き込んだ世界戦争となり、4年の長きにわたりました。たくさんの兵士が、そして非戦闘員が亡くなりました。ある若者は秋のある日、戦場から家族に手紙を書きました。「クリスマスには戻れるよ、きっと。」けれども、その若者が無事家に帰れたのかどうかは、分かりません。この戦争は後に「第一次世界大戦」と名付けられました。生徒の皆さんも社会科で勉強する、人類が初めて体験した世界規模の大戦争でした。

イギリス軍とドイツ軍がにらみ合う西部戦線も冬を迎えていました。1日の戦いを終えたイギリス軍の兵士は、冷えた塹壕の中で疲れ切っていましたが、ドイツ軍の陣地から、聞いたことのあるメロディが耳に届いてきました。「♪きよし、この夜」です。「ああ、今日はクリスマスイブなんだな」しばらくしないうちに、若者たちイギリス軍の兵士たちも、「きよし、この夜」を謳い始めました。歌い終わった時、なんと敵の塹壕から拍手が聞こえてきたのです。そして「おおい、撃つなよ！」と言いながら、一人のドイツ軍兵士が、お酒の瓶を片手に、ゆっくりとこちらに歩いてきたのです。そして…。

今も、ウクライナで、パレスチナで、たくさんの土地で、戦いが続いています。私たち人間は、戦いを、戦争を克服できない生き物なののでしょうか？ いいえ、この絵本には、現実の戦場で、戦いをやめ、戦いはもうしたくないと意思表示をし、敵もまた同じ人間であることを知った人間が描かれています。ぜひ、お読みください。

『戦争をやめた人たち…1914年のクリスマス休戦…』文・絵 鈴木まもる 2022年 あすなろ書房



図書館に新しく入りました！